

平成 30 年度 第 2 回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 平成 31 年 3 月 15 日 (金) 10:30~11:30 |
| 開催場所 | 大槌町デイサービスセンターはまぎく |
| 出席者 | ・利用者家族代表 1 名 ・地域住民代表 1 名 ・知見者 1 名 ・町職員 1 名 ・地域包括支援センター 1 名 ・事務局 3 名 |

【協議内容】

1. 活動状況報告
2. 利用者アンケートの調査結果報告と事業所自己評価の報告
3. その他（地域との交流活動と災害時に係る地域との連携構築について）

【活動状況報告について】

・前年度より利用実人数は若干減ってはいるものの、延べ回数は増えている。背景に、重度の認知症を抱えた利用者宅の介護負担軽減があり、一利用者当たりの利用回数が増えている。

・今年度の平均介護度は 2.2 で昨年より 0.1 増。また、中重度の利用実績にあつては 35% となっており、昨年度より 3% 増加。

・ボランティアの受け入れは随時行っているが、来所団体が決まってきた。特に大正琴は恒例行事となっており、利用者も楽しみにしている。近隣住民の参加が見られないので、今後、来所日が早めに分かれば近くの掲示板を活用して、近隣住民が気軽に参加できるよう周知を図りたい。また、掲示板への貼付に至っては、近隣の自治会長様より自治会の掲示板を活用して良いと承諾を得ることが出来たので、毎月発行している広報等も今後、貼付していく予定である。

・下半期の事故発生状況は 2 件。いずれも大事に至らなかったが、今後も引き続き職員間の情報共有を図り、安全に配慮していきたい。

・各種研修には、職員がまんべんなく参加できるよう努めている。また、今年度は介護福祉士の資格取得に向けて、受験資格要件である介護職員実務者研修を無事 2 名終了することができた。

【アンケート調査の集計結果について】

・全体的に、利用者から好評を得ていると感じている。利用者から頂いた意見を踏まえ、サービス提供の内容に反映していきたい。また、はまぎくの活動内容がご家族にも周知できるよう、毎月発行している広報内容に工夫を凝らしたい。

【事業所内自己評価】

・今回は自分への評価が大変厳しいと感じている。管理者から見て、現場職員は大変良く従事してくれており、また、ご利用者への対応も素晴らしいと感じている。今後も、意識向上の為に自己評価を継続していきたい。

【委員の意見】

～アンケート調査について～

・職員に希望や要望を気軽に言えない方が 2 名いることについて。これは、意思表示が出来ないのか、又は、要望があっても言えない何かの原因があるのか？その理由をきちんと把握しておいた方が良いと思う。

・上記に付随して、デイサービスを利用しても、介護負担の軽減がされていないと言う回答者の理由を把握した方が良いと思われる。

・アンケート内容の項目ごとに回答理由や意見を記入する欄があると答えやすい。最後にまとめて意見を願うと言われても、何に対して意見を述べて良いか困ってしまう時がある。

・アンケートに回答しているのは、本人や家族となっていることを踏まえ、本人と家族の思いは違うと思うので、その思いを把握するための記入欄を設けてはどうか？

(結論)

・せっかくアンケート調査をしても、満足度が高い数字にばかりに目が行き、少数回答者の不満足な理由や意見を把握、分析できていない。委員の意見を踏まえ、来年度のアンケート調査に反映させていく。

～事業所内自己評価について～

・なんに関しても、「ほうれんそう」は大事なことである。自己評価の低い職員に対しては、「ほうれんそう」の重要性を指導して欲しい。

【その他：(地域との交流活動と災害時に係る地域との連携構築について)】

(デイサービスより)

・以前から課題であった地域との交流活動や災害時の連携構築が計れないでいる。委員の方々の意見を賜りたい。

【委員の意見】

・先ずは、顔の見える関係性を構築しなければ、災害時に急な助けを求めるのは難しいと思う、例えば、火事などがあつた際、利用者を運搬したり見守ったりと沢山やるがあつた時、職員だけで利用者を守ったり、業務を抱えたりすることは困難だということを念頭に置いて、先ずは、一緒に活動を行い、デイサービスを「知ってもらふ」必要がある。

・デイサービスがどういうところなのかわからない人がいるので、見学会やデイサービスの体験日を設けてはどうか？

・デイサービスの浴室を開放し、定期的に体験できるよう計画してはどうか？その際、季節感が感じられる湯の工夫(しょうぶ湯やゆず湯など)をしても良いと思う。

・学校が長期の休みに入った時、子供会の行事と合わせて何らかの活動をしてはどうか？地区行事で何をしたら良いか悩んでいるPTA方々の声を耳にする。

・介護者教室を施設で開催しても、参加者が少ないと思われる。地域包括で行う介護者教室も、あまり問い合わせがなく、参加者も少ないのが現状。

(結論)

・デイサービスが困っていることや手伝って欲しいことを提示する。(草刈りや施設内の掃除など)

・自治会が協力できる内容かどうかマッチングを行う。

・自治会、デイサービス双方が無理の無い範囲で活動をすることが大事である。各委員の意見を踏まえ、さしあたって、地元である白澤、寺野地区の自治会に協力を仰ぎ、後日活動内容を検討することとした。